

平成25年12月26日

## 原料費調整制度に基づく平成26年2月検針分のガス料金について (群馬南地区)

東京ガス株式会社  
広 報 部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成26年2月検針分の単位料金を、平成26年1月検針分と同額にさせていただきます。

今回の調整は、平成25年9月～平成25年11月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1カ月に41m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成26年1月検針分と、同額になります。

平成26年2月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1カ月の ご使用量	料金表A 0～23m <sup>3</sup>	料金表B 24～233m <sup>3</sup>	料金表C 234m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	724.50	882.00	2,457.00
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	118.30	111.56	104.82
(参考) 1月 調整単位料金	118.30	111.56	104.82

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1カ月のご使用量 41m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> )	平成26年 1月	平成26年 2月	増減
適用料金(円/月)	5,455	5,455	0

\* 平成25年4月検針分の料金から、標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1カ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5カ年平均)に基づき、料金地区ごとに算定するよう変更いたしました。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)			
	平成25年8月～平成25年10月の平均 (1月検針分)	平成25年9月～平成25年11月の平均 (2月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	18,210	18,210	0
LNG	78,060	78,340	280
基準平均原料価格(b)	11,380		
差額(a-b)	6,800	6,800	0

\* LNG価格は貿易統計値。

\* 平成25年9月～平成25年11月の平均原料価格は原料費調整制度の上限値18,210円(基準平均原料価格11,380円×1.6)を超えたため、18,210円を平均原料価格としています。

\* 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 78,340 \times 0.27^* \\ &= 21,151.80 \\ &\quad \downarrow (10\text{円未満四捨五入}) \\ &= 21,150 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

\* 0.27は液化天然ガス(LNG)の混入比率

\*2 平均原料価格が原料費調整度の上限値18,210円を超えたため、以後の原料価格変動額の算定、単位料金調整額の算定では、18,210円を平均原料価格とします。

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 18,210 \text{ 円/t} - 11,380 \text{ 円/t} &= 6,830 \text{ 円/t} \\ &\quad \downarrow (100\text{円未満切捨て}) \\ &= 6,800 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 6,800 \text{ 円} / 100\text{円} \times 0.0798^* \\ &= 5.42 \text{ 円} \quad (\text{小数点第3位切捨て}) \end{aligned}$$

\* 変動額100円につき単位料金を0.0798(0.076×1.05)円調整します。

<標準家庭における影響>

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 41m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> )	平成26年 1月	平成26年 2月	増減
適用料金(円/月)	5,455	5,455	0

\* 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

本体料金(税込) = 基本料金(882.00円)

$$+ \text{調整単位料金}(106.14\text{円}) + 5.42 \text{ (円)} \times 41\text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(11,380円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.0798円(0.076円に1.05(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNGの貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が18,210円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は18,210円としてガス料金の調整を行います。